

4月から11月末まで、4件の事故が発生しました。10月16日まで連続無事故記録の51日が停止してしまいました。また、2日後の10月18日に再び事故が発生し、その翌日からまた新たにカウントをし、現在**連続42日間無事故**更新中です。年末で「忙しさ」の為に基本動作が疎かになりがちです。ちょっとした不注意が大事故につながります。無事故期間を長く維持できるよう一人ひとりが安全に対する意識を持って就業に努めましょう。

連続無事故記録



現在43日間

令和6年度のこれまでの事故件数は、傷害事故3件、賠償事故1件です。

1件目：令和6年5月26日（日）発生（傷害事故）

事故内容：駐輪場での就業中、自転車をラックから降ろす際に、ラックの取っ手を持ってラックを引き出すところ、誤って自転車のスタンドを持ってしまいバランスを崩し転倒し、その際、背骨を圧迫骨折した。

事故原因：注意力が足らず、また判断力を誤って、身体のバランスを崩した。

再発防止策：ラック作業時に、確実に把手を掴んでいるかをしっかり確認する。

2件目：令和6年8月26日（月）発生（傷害事故）

事故内容：帰宅途中、市道を歩いていて、大きな水たまりに足を踏み入れ、滑って転倒し右側頭部を打ち付けた。

事故原因：滑ると深くは考えず、水たまりに踏み入れてしまった。

再発防止策：バスを利用するか、または大きな通りを歩くようにする。

3件目：令和6年10月16日（水）発生（賠償事故）

事故内容：植木剪定作業中、カーポートの鉄骨部に乗って作業をしていたところ、足を踏み外して、ポリカーボネート屋根を破損してしまった。

事故原因：判断を誤り、ポリカーボネートの屋根に乗ってしまった。

再発防止策：三脚が使用できない場所での作業はしない。

4件目：令和6年10月18日（金）発生（傷害事故）

事故内容：運搬車に積んだ、伐採した枝を降ろす作業中、右手親指付け根の上部を、皮手袋の上から（スズメバチと思われる）刺された。

事故原因：雨が降っていて、蜂の動きも鈍く、いることに気づけなかった。

再発防止策：積み下ろしの際、蜂に十分注意して作業をする。

桶川市において交通死亡事故の発生（上尾警察署交通課）

11月1日午前10時ころ、上日出谷敷地内において軽貨物車と歩行者の関係する交通事故が発生し、歩行者が亡くなりました。

- ◆ドライバーの皆様…歩行者の動静に注意しましょう。
- ◆歩行者の皆様…道路を横断するときは、横断歩道を渡るようにしましょう。
- ◆ドライバー、歩行者の皆様 車の死角に注意しましょう。

きらめき3H運動実施中

- 早めのライト点灯
- 反射材着用
- 歩行者保護



冬の転倒に注意！

冬は凍結や雪で道路が滑りやすくなります。就業中や行き帰り際には、いつも以上に注意し、時間に余裕をもった行動を心がけましょう。

転倒予防のチェックポイント

- 滑りやすい、つまずきやすい履き物で就業をしない。
- 作業に集中し過ぎて、足元や周囲への安全確認が「おろそか」になっていないか。
- 後方を確認しないで、後ずさりや後ろ歩きをしていないか。
- 約束の時間に遅れるとの「あせり」から、行うべき安全確認を省略していないか。
- 雨の日やその翌日は、濡れた路面や横断歩道、マンホールのふたなどに注意する。
- 夕暮れや薄暗い場所では、足元の障害物や段差の「つまずき」に注意する。



◇ 健康一口メモ ◇
今からはじめる骨づくり
働く人の骨の健康



骨粗しょう症やロコモティブシンドロームは高齢者だけが、急になるわけではありません。年齢や性別を問わず、偏った食生活や過度なダイエットなどは、骨密度の低下や転倒などによる骨折につながる危険性があります。日ごろから骨を強くするためにできることを実践しましょう。

◆骨の病気を知ろう。

骨粗しょう症とは…骨の強度が低下し、骨折しやすい状態のこと。

ロコモティブシンドローム…運動器の障害により「立つ」、「歩く」などの移動機能が低下した状態。

◆骨を強くしよう。

いつもの献立の品数を増やすことで、多くの種類の品数を取り入れることが大切です。骨を強くするには、カルシウムやたんぱく質をとるとよいでしょう。

◆骨を意識しよう。（運動習慣をつける）

骨を丈夫にするためには、運動が必要です。まずは、今より少しでも身体を動かすことを意識して、取り組んでいきましょう。